

- ・大会実行委員会からのお知らせ
- ・事務局からのお知らせ
- ・編集委員会からのお知らせ

I. 大会実行委員会からのお知らせ

1. 日本科学哲学会第32回(1999年度)大会〔場所：法政大学〕のプログラムについて

今年度大会のプログラムは、以下を予定しています。

11月13日(土)

研究発表(10:00-12:00)

理事会・評議員会・大会実行委員会(12:00-13:15)

総会(13:15-13:45)

特別講演(13:45-14:45)

講演者：原田悦子(法政大学)

演題：「意識再考 記憶心理学の最近の成果から」

シンポジウム(15:00-17:30)「コネクショニズムとその哲学的意義」

司会者：美濃正

提題者：信原幸弘、服部裕幸、月本洋〔(株)東芝〕

懇親会(18:00-20:00)〔会費：¥5,000〕

11月14日(日)

ワークショップ(10:00-12:00)

・「フランス科学哲学の伝統と現在」

オーガナイザ：小林道夫

提題者：安孫子信、小林道夫、横山輝雄

・「タルスキ真理論の射程」

オーガナイザ：岡本賢吾

提題者：岡本賢吾、斉藤浩文、松阪陽一

理事会・編集委員会・大会実行委員会(12:00-13:20)

研究発表(13:30-14:30)

ワークショップ(14:45-17:00)

・「人工生命研究の世界観：生命と認知への構成論的アプローチ」

オーガナイザ：戸田山和久

提題者：戸田山和久、有田隆也(名古屋大学)、池上高志(東京大学)

・「論理学教育の現状と展望()日本語と論理」

オーガナイザ：飯田隆

提題者：飯田隆、村上祐子、中川裕志(横浜国立大学)

2. 研究発表者の募集について

今年度大会での研究発表の希望者を募ります。希望される方は、発表要旨〔B5 版用紙 1 枚にワープロで 800 字程度、上部に題目、氏名、所属を明記のこと 御提出いただいた原稿をそのまま予稿集の版下とします〕添付の上、9 月 1 日（必着）までに事務局宛お申し込み下さい。採否の通知は、不採用の場合にのみ、9 月 15 日頃に郵送で行います。

3. プログラムの発送について

プログラム、出張依頼状、宿泊施設案内、会場周辺地図（附：交通案内）、ワークショップ資料請求先一覧は、例年通り大会のおよそ 1 カ月前、10 月 15 日頃に発送の予定です。

II. 編集委員会からのお知らせ

1. 自由応募論文について

学会誌『科学哲学』33 巻 1 号（2000 年 5 月発行予定）に掲載されるための論文審査を希望される方は、応募要領に則って執筆された論文を、1999 年 10 月 31 日（必着）までに事務局宛お送り下さい。

III. 事務局からのお知らせ

1. 訂正とお詫び

「ニューズレター」No.11 掲載記事に誤りがございましたので、訂正してお詫び申し上げます。

(1) 「学会・研究会予告」(p.7)

日本科学哲学会第 32 回大会の期日が「1998 年 11 月 21・22 日」とされていますが、これは「1999 年 11 月 13・14 日」の間違いです。

(2) 「会計報告」(p.9)

1997 年度決算の支出欄に「謝金 (I.Hacking 教授講演会謝金) ¥30,000」が記載されていませんので、追加をお願い申し上げます。

以上です。校正・点検の不便を深くお詫び申し上げます。

〒156-8550 東京都世田谷区桜上水 3-25-40

日本大学文理学部哲学研究室内

日本科学哲学会事務局

tel. 03-3329-1151 (内線 4100)